

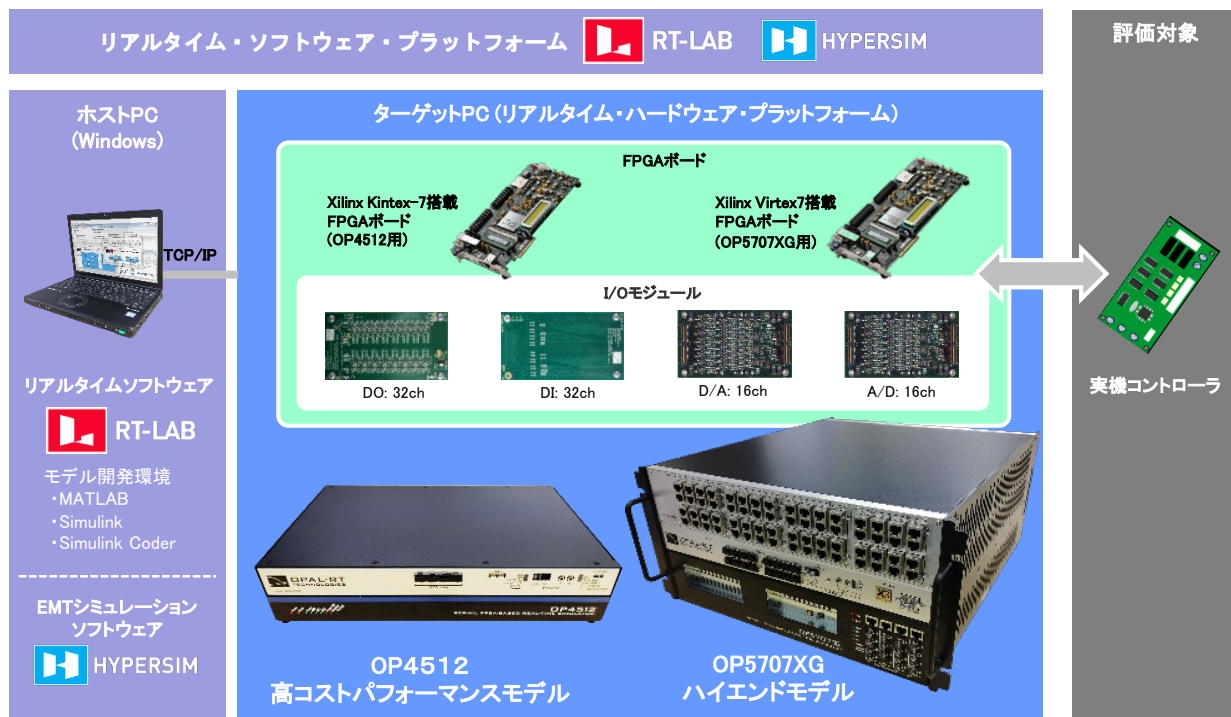
HARDWARES

リアルタイム・ハードウェア筐体

リアルタイムシミュレーション・ターゲット

最大24コアのマルチコアCPU環境や高速FPGAの搭載に対応した
新世代のリアルタイムシミュレーション用プラットフォーム

RT-LAB リアルタイムシミュレーションの基本構成



リアルタイムシミュレーション・ターゲットの特徴

- ・最新のCPUを用いて、安価で高速なシミュレーション環境を実現 (※最大16コアのプロセッサ)
- ・FPGA上でのモデルの実行に対応
- ・パワエレ回路を簡単に編集可能・長時間のビルド不要
- ・I/O拡張ユニットを増設することにより、多数のI/Oを用いる 試験にも対応可能
- ・専用のモニタリング端子より、配線を変える事なく I/Oの入出力を オシロスコープ等でモニタリング可能
※ OP5707XGのみの機能です

背面I/Oモジュールで実機コントローラとHIL接続しながら
全面パネルで任意の4chずつオシロ観測



* 本カタログに記載されている製品等の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。





NEAT

リアルタイム・ターゲット筐体仕様

アナログ入出力

Analog INモジュール OP5340



- ・16chのAnalog INモジュール
- ・分解能: 16bit
- ・入力レンジ: -20~+20Vdc

Analog OUTモジュール OP5330



- ・16chのAnalog Outモジュール
- ・分解能: 16bit
- ・出力レンジ: -16~+16Vdc

デジタル入出力

Digital INモジュール OP5353



- ・32chのDINモジュール
- ・フォトカプラにて絶縁
- ・入力レンジ: 4~100Vdc

Digital OUTモジュール OP5360

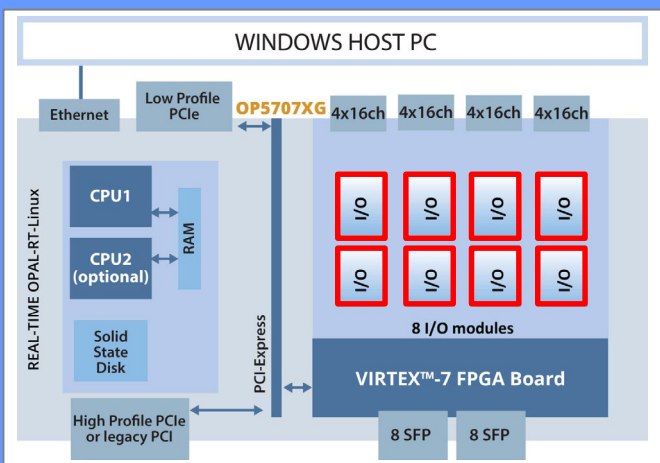


- ・32chのDOOUTモジュール
- ・フォトカプラにて絶縁
- ・出力レンジ: 4~36Vdc

レイアウト

OP5707XG ターゲット筐体

- ・OP5707XG上に最大8モジュールを搭載可能
- ・さらにI/Oが必要な場合は増設用のユニットを追加可能
- ・SFPコネクタにて光ケーブルによる通信に対応



追加・変更で自由なI/Oレイアウト



A/D: 16ch

D/A: 16ch

DI: 32ch

DO: 32ch

追加スロット

追加スロット

追加スロット

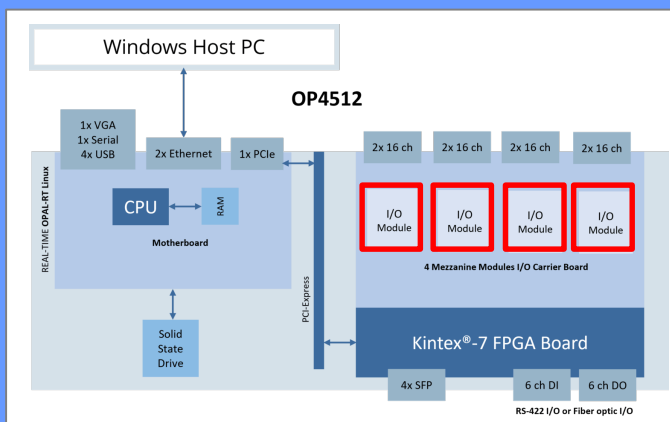
追加スロット

仕様

電源: 350W
 プロセッサ: Intel® Xeon® 4cores/3.8GHz
 サイズ: 47.7(W) × 49.3(D) × 22.1(H)cm
 重さ: 17kg

OP4512 ターゲット筐体

- ・OP4512上にDIOとAIOを計4モジュールを搭載
- ・SFPコネクタにて光ケーブルによる通信に対応



シンプルで必要十分なI/Oレイアウト



A/D: 16ch

D/A: 16ch

DI: 32ch

DO: 32ch

仕様

電源: 350W
 プロセッサ: Intel® Xeon® E3 4 cores, 3.7 GHz
 サイズ: 43.2 (W) x 28(D) x 8.9cm (H)
 重さ: 5kg

※ハードウェア仕様は変更される場合があります。詳しくはお問い合わせください。

アプリケーション

HILシステム / パワーHIL / RCP (ラピッド・コントロール・プロトタイプング) / リアルタイムMIL / モータ・インバータHIL / 協調シミュレーション
 パワーエレクトロニクス / 電力網の制御、保護システム / マイクログリッド / MMC / 電力系統 / 風力発電 / EV・HV / 航空機 / 他